

単元名 国語辞典を使おう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 辞書の使い方を理解し、使うことができる。
(3) 辞書の使い方を理解し、使おうとする。

標準的な展開例

03010105_001

【教材名】国語辞典を使おう (上 P. 32～P. 34)

【準備等】国語辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 国語辞典を使う目的と使い方を知る。</p> <p>★国語辞典の使い方を知ろう。</p> <p>○国語辞典を見て、何が載っているかやどんなときに使うのかなど、考えたことを話し合う。</p> <p>○国語辞典を使って調べる方法を理解する。</p> <p>○見出し語の見付け方を理解する。</p> <p>2 見出し語の並び方や言葉の形について知り、いろいろな言葉の意味を調べる。</p> <p>★国語辞典でいろいろな言葉の意味を調べよう。</p> <p>○清音・濁音・半濁音の並び方や長音を含む語の配列を知る。</p> <p>○形の変化する言葉は言い切りの形で調べることを知る。</p> <p>○教科書 (P. 34) の課題に取り組み、自分の使う辞書の語の並び方を確認する。</p> <p>○教科書 (P. 34) の課題に取り組み、意味が複数ある中から文脈に適した意味を選ぶ。</p> <p>○教科書 (P. 34) の課題に取り組み、辞書で言葉の意味を調べ、適切な語を選ぶ。</p> <p>○調べて分かった意味をノートにまとめる。</p>	<p>・国語辞典を使った経験を発表させ、学級や個人の実態に応じて学習を進めていく。</p> <p>・二次元コードを読み込み、動画を視聴させてもよい。</p> <p>・国語辞典を開き、教科書 (P. 32) 「国語辞典のれい」の内容を確認させる。</p> <p>・国語辞典では、どのような決まりで言葉が示されているかを知らせる。</p> <p>・教科書 (P. 140) 「ひらがなとかたかな」を参考に、五十音の並び方を確かめて、言葉を調べさせる。</p> <p>【評】国語辞典の使い方を理解する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書 (P. 33) の「ホール」「ボール」「ポール」「シール」「プール」などの語を実際に引いて配列を確かめさせる。</p> <p>・教科書 (P. 33) を読んで、形の変化する言葉は言い切りの形で調べることを押さえる。</p> <p>・すぐに辞書を引かせるのではなく、どちらが先に出ているか予想させてから調べさせる。</p> <p>・辞書を引く前に文脈から意味を予想させてから、当てはまる意味を辞書を使って確認させる。</p> <p>・調べた意味をノートにまとめさせる。</p> <p>・国語辞典の仕組みと使い方を知り、使い慣れておくことで、分からないことは自分で調べられるという自信をもたせ、今後の学習で積極的に国語辞典を活用できるように指導したい。</p> <p>【評】国語辞典を使って文字や語句を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】